滋賀県議会議員

成田 セイリュウ

チームしが 県議団

滋賀県議会活動　NewsReport Vol.57　2019 年春号

未来への責任

～夢を育む！政策提言から実現へ～

希望
- ○歴史文化・自然環境を活かした観光振興
- ○利便性の高い交通ネットワークの構築
- ○いつまでも学び続けられる環境の整備

未来に輝く、魅力あるまちへ！

笑顔
- ○安全安心の防災・防犯の体制強化
- ○社会全体で子どもの成長を支える仕組みづくり
- ○安定した雇用の確保と仕事と家庭の両立支援

安心にくらし続けられるまちへ！

元気
- ○医療・福祉・健康の施策連携とスポーツ振興
- ○すべての人に居場所と出番のある社会づくり
- ○自然環境の保全と持続可能な社会の構築

いきいきと活躍できるまちへ！

成田政隆　プロフィール

- ・1974年8月15日大津市生まれ、一児（小学生）の父
- ・唐崎小、中、膳所高、龍谷大学法学部政治学科卒
- ・同志社大学大学院総合政策科学研究科博士前期課程修了
- ・第11回マニフェスト大賞　優秀政策提言賞受賞
- ・全国災害ボランティア議員連盟　理事
- ・滋賀県議会自転車推進議員連盟　副会長
- ・大津市消防団地域防災指導員　・宅地建物取引士
- ・NPO法人　おおつ環境フォーラム　理事
- ・大津市手話奉仕員養成講座入門課程　修了

◇趣味：トレイルランニング、トランポリン、映画鑑賞

〒520-0006　大津市滋賀里4-19-17　http://www.narinari.net/
TEL 077-525-2350　FAX 077-525-2345　mail@narinari.net

2月定例会議　一般質問　子どもの貧困対策について

成田　子ども食堂やトワイライトステイ、学習支援事業など、県内での様々な取り組みや「子供の貧困に関する大綱」の改定や新たな視点等、国における子どもの貧困対策の方向性も含めながら、滋賀県においてもだれ一人取り残さないためにも、子どもの貧困対策をさらに推し進めていく必要があると考えるが、子どもの貧困対策にかける知事の想いは？

三日月　全ての子どもたちが、生まれ育った環境によって希望する進路をあきらめることなく、子どもが持っている能力や可能性を最大限伸ばすことができるよう、その環境づくりに社会全体で取り組むことが重要。福祉や教育、就労に関係する部局が連携し、住民、企業、ＮＰＯなど様々な主体の協力を得ながら、貧困が連鎖せず生まれ育った環境により子どもの将来が左右されない社会をつくることで、子どもの笑顔があふれる滋賀を目指してまいりたい。

◇県立高等学校の入学時に必要な経費等の情報提供を行うこと。特に制服においては価格差の是正の取り組みの必要性 ◇滋賀県奨学資金に関して、入学式までに貸与できる制度設計の必要性 ◇子どもたちが落ち着いて学べる場、学習拠点の整備等、居場所を作っていく必要性 ◇子どもの貧困とワーキングプアの関係は密接な関わりがあることから、子育て、教育、福祉だけでなく、保護者の就労支援まで、部局間連携のもとで、支援を行う必要性 ◇夜間中学の整備 等を議論しました。

2019年消防出初式

びわ湖レイクサイドマラソン

市民ヨシ刈り

滋賀の教育の充実

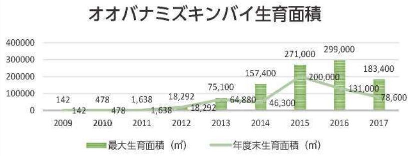
小中学校における35人以下学級の推進や、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）の拡充を提案しました。子どもたちを取り巻く様々な課題に対し、多様な支援ができるように引き続き取り組んでいきます。

2015年より小・中学校における35人以下学級の完全実施

（2015年）		（2019年予定）
SCの人数・総時間数		
82人 23,616時間	➡	90人 25,391時間
SSWの人数・総時間数		
14人 5,976時間	➡	17人 8,688時間

琵琶湖の保全・再生

南湖の水草やオオバナミズキンバイなど侵略的外来水生植物対策の拡充を提案し、少しずつにはなりますが、改善してきました。今後、さらに森林と琵琶湖の一体的な保全を行い、自然本来の姿を取り戻します。



滋賀の魅力の向上

観光戦略の一つとして、自転車を中心としビワイチ（びわ湖一周）ブランドの活用を提案しました。今後は滋賀の山々をトレイルで一周つないだり、自然環境や歴史文化の活用をはじめ、滋賀ならではの魅力の発信を行っていきます。

ビワイチ体験者数

2015年	2016年	2017年	2018年（集計中）
約5.2万人	約7.2万人	約9.5万人	10万人超

がん対策の推進

がんの治療による影響で、治療中だけでなく治療後も、自らの力で子どもを持つことが難しくなる場合があります。がん治療前の精子・卵子・卵巣保存により、がん治療後に妊娠・出産の可能性を残せるよう、妊孕性（にんようせい）温存治療費の一部助成制度を提案し、制度化しました。今後は骨髄移植ドナー助成制度の創設をはじめ、がん対策に向け、多様な支援体制を整えます。

滋賀県妊孕性温存治療助成事業

2016年度	男2人	女7人	計９人
2017年度	男2人	女5人	計７人
2018年度	男5人	女5人	計10人

（3月7日現在）

自殺対策の推進

自殺に追い込まれる方は、精神保健上の問題や家族の不和、負債、身体疾患、生活苦、失業など、平均4つの危機要因を抱えられており、保健や医療、福祉、教育、労働等、各分野の連携が不可欠であります。そこで自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることのできるゲートキーパーの養成の必要性を提案しました。

交通政策の推進

湖西線の風対策を要望し、防風柵の設置により1/3まで運行見合わせが削減できました。少子高齢化社会を見据え、だれもが行きたいところへ移動できる権利を有するため、その地域にあった公共交通網の整備促進、また人材確保策の推進を図っていきます。

JR西日本 湖西線の防風柵の設置

- 2008年 12月　比良～近江舞子（約2.9km）
- 2012年　2月　近江舞子～北小松（約1.3km）
- 2016年　2月　志賀～比良（約2.5km）
- 2017年　3月　和邇～志賀（約3.3km）
- 2019年　2月　近江中庄～永原（約3.4km）
- 2019年　2月　永原～近江塩津（約1.2km）

合計14.6km　→運行見合わせが1/3に減少

和邇駅の強風時の折返設備

2019年　3月　ダイヤ改正以降供用予定

防災対策の推進

地震や風水害・土砂災害など、災害時に県として機能的に対応がとれるように危機管理センターの整備や業務継続計画（BCP）の必要性を提案しました。今後、避難所運営や災害ボランティアをはじめ、受援体制の整備を行い、想定外をなくす取り組みが必要です。

2013年 1月　滋賀県業務継続計画策定
2016年 1月　滋賀県危機管理センター開所

**いろんな人に会って
いろんな声を聞きました。
未来の滋賀県に
皆様の声が届くように、
想いが形になるように、
政策提案を行ってきました。**

提案が他にも実現しました！

水源森林地域保全条例の制定
▶12年11月議会提案

滋賀県公文書等の管理に関する条例制定
滋賀県立公文書館の設置（2020年4月）
▶13年6月議会提案

滋賀県議会基本条例制定
▶13年度議会改革検討委員会 議員提案条例

無料WIFIの設置（約1000ヶ所整備）
▶14年2月議会提案

滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の制定
▶16年度文教警察常任委員会 議員提案条例

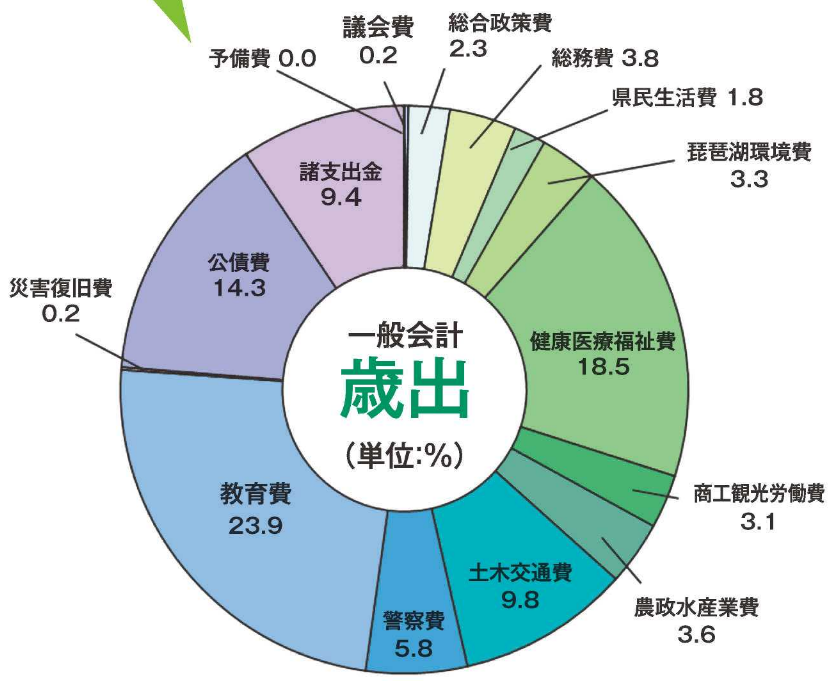
2019年度 当初予算編成

三日月知事が公約で掲げた「健康しが」の実現に向けて

2019年度当初予算の一般会計総額は、5,414億8,000万円。前年度と比べると約45億円（0.8%）の増額。その主な要因は、2019年10月からの幼児教育・保育無償化による対応のほか、介護施設等の社会福祉施設に対する整備補助金の増や防災・減災対策を行うための土地改良公共事業、国民スポーツ大会関係の施設整備等によるものです。

昨夏の知事選で三日月知事が掲げた公約「健康しが」の実現に向けた初めての本格予算編成です。次期基本構想に掲げる将来世代も含めた誰もが新しい豊かさを感じながら、一人ひとりが尊重され、自分らしく生きることができる「未来へと幸せが続く滋賀」の実現に向けて取り組むことを基本方針としています。

一般会計予算
5,414億8,000万円



2019年度は **人の健康** **社会の健康** **自然の健康** の3つのテーマを基に施策展開をしていきます。

「健康しが」主な事業

★は新規事業

1 人の健康

スポーツで滋賀を元気に!	48億3,800万円
★「幻の安土城」復元プロジェクト	900万円
★保育人材の確保・質の向上対策	9,110万円
小児保健医療センター・療育部・守山養護学校の一体的整備	1億2,920万円
★「読み解く力」向上支援事業	2,180万円
★しがグローバル人材育成事業	370万円
滋賀マザーズジョブステーション事業	5,190万円

2 社会の健康

滋賀への誘客などに向けた取り組み（NHK大河ドラマ「麒麟がくる」NHK連続テレビ小説「スカーレット」との連携）	1億2,930万円
★外国人材受入サポート事業	4,270万円
★滋賀発　事業承継プロジェクト推進事業	1,000万円
環境こだわり農業のさらなる推進・ブランド力強化	5億7,200万円
地域を支える新たな公共交通の仕組みづくり	4億7,600万円
災害に強い地域づくり	5億3,780万円
★子どもの安全対策事業	710万円
★「やまの健康」推進プロジェクト	4,820万円
★障害者差別解消総合推進事業	1,410万円
★農業と福祉の連携による共生社会づくり	2,080万円
多文化共生総合相談ワンストップセンターの運営	2,530万円

3 自然の健康

★琵琶湖活用推進支援事業	100万円
★気候変動適応推進事業	1,180万円
★琵琶湖におけるプラスチックごみ問題調査検討事業	180万円

～すべての人に居場所と出番がある共生社会を目指して～

チームしが 県議団 4年間の取り組み

県外調査（スマート農業について）

本会議場での討論

県外調査（盲ろう者支援の取り組みについて）

県外調査（障がい者雇用について）

県民の皆様にもご参加いただき流域治水に関する勉強会を開催

三日月知事に新年度予算に対する予算ならびに施策の要望

各種団体の皆様との意見交換会を毎年開催

県外調査（児童虐待や非行等の思春期問題への対策について）

会派会議（議案等協議）

公立高校の早期の空調（冷房）設備の設置等についての要望書を提出

- 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例の制定
- 滋賀県公文書等の管理に関する条例制定
- 犯罪被害者等支援条例の制定
- 文化・スポーツを一体的に捉えるための組織改編
- 林業従事者の育成、雇用創出、販売流通促進等、林業振興
- 子どもの貧困対策（子ども食堂等）
- 盲ろう者社会参加促進事業の拡充
- 強度行動障害児者の支援
- 中小企業の事業承継支援対策
- ビワイチ観光の促進、環境整備の推進
- 主要農作物種子法廃止に伴う課題対応のための県独自の条例制定の着手
- 農水産業六次産業化の推進
- 県立学校の空調設備整備の早期実現
- 学ぶ力向上対策の推進
- インクルーシブ教育の推進
- 流域治水の取り組み
- 新船「うみのこ」の建造

他